

フクタニニュース

発行



(株)フクタ

重大事故頻発

九月と十月、静岡県と長崎県の採石場で死亡労働災害が発生しました。静岡県の事故は、ベルトコンベアへの巻き込まれ、長崎県の事故は、ホイローダーに轢かれるという事故でした。これらに類似の事故は、今まで幾度となく発生してきた典型的な碎石業の災害です。

なぜ繰り返されるのでしょうか。ハイリツヒの法則では、1件の重大災害の下に300件のヒヤリハットが隠れているといわれます。仕事の慣れがスピードが速くなると、周りの景色が見えなくなり、300件のヒヤリハットが隠されてしまいます。これから雪の季節が到来しますが、いろんな危険を見逃さず、来るべき冬も無災害で努めていきます。



～ 標準のススメ ～



標準を考える寄合いがあった。標準とは、辞書によると「判断のよりどころや行動の目安となるもの」「平均的であること。また、その度合い」などとある。物でも行動でも、標準があるから優れているのか、劣っているのか誰でも客観的に判断することができる。

しかしながら、厄介なことに標準は場所、時間、環境によって変わってしまう。

みそ汁の味の標準は、東北と関西では違う。その地域の環境に応じて、標準は極力狭い範囲で考えるべきなのではないだろうか。ただし、細部にわたる一定以上の極端な標準化は、行動や製品価値の自由度を奪うことになりかねない。翻って自社の現状を考えると、標準化（社内のルールづくり）は、未だ途上である。適切な標準は、目標を明確にし、動機づけを与え、達成感を味わうための大事な柱である。作業標準、行動基準、製品規格等、自社で考え、自社で決定し、自社で育てる身の丈に合った標準作りが大切なのだと、寄合いの皆さんの話を聞いて考えた。

編集後記

我社グループに女性社員がそれぞれ部所に一人ずつ

いて、年に1, 2回は積立をして親睦旅行をしています。今回は『花巻の優香苑』というところに泊まってきました。昔ながらの建物ではありますが綺麗に清掃され、風流があって、料理も豪華でとても美味しくいただきました。ご参考まで (^ ^)



～スポーツって素晴らしい！(^0^)/～

ラグビーワールドカップに沸く日本！大会が始まる前はそんなに盛り上がっていなかったし、まさかこんなに盛り上がると思っていなかったと思う。

日本の快進撃！8強を目指した大会は見事にその目標を達成した。準々決勝の南アフリカ戦は前回のような番狂わせは起きなかったが、本当に良く善戦し最後まで日本国民に勇気と希望を与え、インタビューからは一様に日本チームへの感謝の言葉が語られていた。

釜石復興スタジアムの試合は残念ながら2試合目は台風により中止となったが、カナダチーム、ナミビアチームは被災地に入りボランティア活動をするという心温まるニュースもあった。釜石のスタジアムについては今後定期的に各種大会にて活用されるだろう。そしてラグビーの街釜石として復活を遂げてほしいと心より願う。改めてスポーツっていいなあと思う、盛岡シティーマラソンのニュースを見ても多くの人が集い、笑顔で街を走る姿に人間同士の温かさを感じる。

運営スタッフは大変だったと思うが、おそらく参加ランナーの楽しそうな姿にきっと充実感いっぱいだったことだろう。スポーツの秋であるが、いよいよカーリングのシーズンインでもある！また今年も始まるぞ！



山口清一郎さん定年

昭和55年6月に入社以来、39年間勤務された山口清一郎さんが10月で定年を迎えました。碎石事務所を訪れていた方たちの間では多分(!)有名人で、看板おじさんと言える人材だったと思います。



事務所廻りの雑務と清掃を担当し、誰にでも声をかけ、ダンプの荷台が大丈夫かと気を配ったり、タイヤがパンクしてるなどの注意をしてきていました。雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、継続することの重みとありがたいという感謝の心を後輩に示してくれました。お疲れさまでした。

住めば都

秋の深まりとともにプランターの花はみるみる元気を失って、サルビアとマリーゴールドを残すのみとなった。



ところが、9月下旬、マリーゴールドが植えてあったプランターの横のコンクリートのすき間から芽を出したマリーゴールドが今では見事に咲き誇っている。花卉も大きく、色つやもよく親を凌ぐ元気な咲きっぷりである。

そこで教訓「親は無くとも子は育つ」「住めば都」